

合同防災 キャンプ 2017

報告書

2017.07.16-2017.12.23



平成 30 年 2 月
東京都教育委員会

目 次

はじめに

第 1 章 実施概要

- ・ 事業の趣旨／実施体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
- ・ 3.11 東日本大震災を忘れない・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
- ・ 合同防災キャンプ 2017 全体スケジュール・・・・・・・・・・8
- ・ 合同防災キャンプ 2017 募集活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
 - 学校への告知ポスター／学校への告知チラシ
 - 参加生徒・教員が合同防災キャンプ 2017 に期待すること

第 2 章 合同防災キャンプ 2017 実施内容

- ・ 事前研修の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
 - 生徒代表決意表明及び教員代表挨拶・・・・・・・・・・14
 - 防災士養成講座（講義・演習）・・・・・・・・・・15
 - 「避難と避難行動～東日本大震災、その時学校は～」
 - 講師／旧石巻市立門脇小学校 校長 鈴木 洋子先生
 - 「近年の自然災害に学ぶ」
 - 講師／防災情報機構 特定非営利活動法人 会長、元 NHK 解説委員 伊藤 和明氏
 - 「地震の発生メカニズムと被害（+ 地震防災）」
 - 「津波の発生メカニズムと被害（+ 津波防災）」
 - 講師／東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 教授 目黒 公郎先生
 - 「防災訓練（クロスロードゲーム）」
 - 講師／特定非営利活動法人 日本防災士会 常務理事 橋本 茂氏
 - 「災害と危機管理」
 - 講師／小さな命の意味を考える会 代表、
 - 元東松島市立矢本第二中学校 防災担当主幹教諭 佐藤 敏郎先生
 - グループ協議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
- ・ 被災地での宿泊研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
 - 石巻グループ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
 - 石巻市周辺被災地状況視察、宮城県志津川高等学校の生徒とのグループワーク
 - 女川グループ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
 - 女川町周辺被災地状況視察、宮城教育大学の学生等とのグループワーク
 - 復興支援ボランティア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
 - 海岸清掃ボランティア サンオーレそではま
 - 農業支援ボランティア 小野花匠園
 - 漁業支援ボランティア 金比羅丸
 - 物販支援ボランティア たみこの海パック
 - 林業支援ボランティア 南三陸森林組合、入谷 Y e s 工房

防災士養成講座	36
「災害とボランティア活動」	
講師／環境・防災コンサルタント、元横浜市消防局 消防監、社会貢献学会 理事 秦 好子氏	
南三陸町での交流活動	40
「東日本大震災からの記憶～千年に一度の災害は、千年に一度の学びの場～」	
講師／南三陸ホテル観洋 女将 阿部 憲子氏	
宿泊研修一日目・二日目の振り返り	40
講師／環境・防災コンサルタント、元横浜市消防局 消防監、社会貢献学会 理事 秦 好子氏	
「東日本大震災 消防活動の記録～震災から得た教訓～」	41
講師／気仙沼・本吉地域広域行政事務組合 南三陸消防署 当直司令兼警防第二係長 及川 孝氏	
語り部バス及び南三陸町職員による講話	42
【語り部バス行程】	
南三陸町立戸倉公民館（旧南三陸町立戸倉中学校）→	
旧南三陸町立戸倉小学校跡地→南三陸町旧防災対策庁舎→	
旧高野会館→南三陸町ベイサイドアリーナ→南三陸さんさん商店街	
【講話内容】	
「東日本大震災での体験談 ～生き延びるために～」	
講師／南三陸町教育委員会 志津川公民館・入谷公民館 館長 佐々木 仁一氏	
「南三陸町の防災について ～東日本大震災をふまえた防災対策～」	
講師／南三陸町危機管理課 課長 村田 保幸氏・主事 西條 和弘氏	
・事後研修の開催	45
防災士養成講座	46
「身近でできる防災対策」	
講師／危機管理アドバイザー、危機管理教育研究所 代表 国崎 信江氏	
「防災士の役割」	
講師／防災士研修センター 代表取締役 甘中 繁雄氏	
研修全体の振り返り	47
防災士資格取得試験	47
・都立高校防災サミット及び合同防災キャンプ報告会	48
第Ⅰ部「活動報告」と防災士認証状授与式	
第Ⅱ部「避難所運営について」（グループ協議）	
・合同防災キャンプ参加者による取組報告	50
～合同防災キャンプ2016参加者による災害ボランティア派遣	
第3章 合同防災キャンプ2017 参加者感想	52
第4章 資料 合同防災キャンプ2017 データ	
・合同防災キャンプ2017参加者名簿	60
・合同防災キャンプ2017参加者記念写真	62
・合同防災キャンプ2017参加者データ（参加生徒 学年、参加教員 職層）	
・災害ボランティア派遣参加者名簿	62
・合同防災キャンプ2017 報道状況	63
・災害ボランティア派遣 報道状況	63

はじめに

東日本大震災が発生した平成23年3月11日から6年以上が経過しました。あの日の午後2時46分、経験したことのない大きな揺れに対して感じた恐怖や、テレビで報道される被害状況により受けた衝撃は、誰もが鮮明に覚えていることと思います。その一方、東日本大震災の被災地への意識や関心が薄れ風化が進んでいるとも言われています。

この間に、国や地域を超えた多くの人々の懸命な努力により、被災地の復興・復旧が進んでいますが、震災を経験した人たちの心の傷は、いまだに癒えることはありません。このような状況において私たちは、被災された方々の思いを改めて胸に刻み、自分が置かれている立場の中で、共に支えあうことができるよう全力を尽くす責務があります。

また、東京都においては首都直下地震の発生が危惧されています。このような災害に対して最も大切なことは、私たちが日常、生活している家庭や地域で十分な備えを行い、災害が発生した時に、迅速かつ的確に判断し、行動できるようにすることです。そのためには、一人一人が防災に関する正しい知識や実践力を身に付けるとともに、地域等において防災活動のリーダーの役割を担う人材が不可欠です。

そこで、東京都教育委員会は、将来の防災の担い手である高校生や学校内の安全教育の推進者である教員が、東日本大震災の被災地を訪問し、復興に向けて日々努力をしている方々と触れ合い、実際にボランティア活動を行うことで、現地の方々の思いや苦勞、復興や防災に向けての工夫を理解し、防災士としての知識・技術はもとより高い意識と温かい心を持った真の防災の担い手に成長することを目的として「合同防災キャンプ」を実施しました。

本報告書は、この合同防災キャンプの概要とその成果の一端をまとめたものです。現地の人々と一緒に汗を流し、今だからとお話ししてくれた生の声を真摯に聞くことができたからこそ知り得た災害の本当の姿や被災地の今を、参加者の感想によって表現することで、少しでも伝えたいと考え編集しました。東京都の各学校においては、本報告書を防災教育の教材として活用し、実践的な防災教育を一層推進されることを期待しています。

最後に、本合同防災キャンプを実施する上で、御協力いただいた宮城県教育委員会、宮城県志津川高等学校、国立大学法人 宮城教育大学、南三陸町役場及び南三陸町教育委員会、女川町教育委員会、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合をはじめ、御協力いただいた各団体並びに旧宮城県石巻市立門脇小学校 校長の鈴木洋子様をはじめ講師の皆様にご心より御礼申し上げます。

平成30年2月